学校番号	107

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「探求　文学国語」　（桐原書店）						
副教材等	「最新国語便覧」（浜島書店） 「重要頻出漢字　リアルマスター３３００」（尚文出版） 「文学国語セレクション」（東京書籍） 「読解　評論文キーワード　改訂版　頻出 270 語&テーマ理解&読解演習 54 題」（筑摩書房） 「力をつけるシリーズ　文学読解　Plus」（数研出版） 「徹底演習　新しい共通テスト国語対策問題集［現代文＋古典］35」（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語科では、「自ら考える力」の育成を目指しています。実り多い学習となるよう、「授業」を大切にし、「予習」・「復習」はバランス良く主体的に取り組みましょう。授業を受ける前と後の自分の思考の変化を感じてください。３年次では本文の構造を客観的に把握しつつ筆者の主張を見つけ出し、自己の考えを書く力を身につけることを目標とします。そのために「予習」では、辞書を活用して新出語句の意味調べや本文の音読、「復習」では学んだことを整理し、重要事項についてさらに調べて、どんどんノートに付け加えましょう。授業中は級友の意見や授業者の口頭による説明も必要に応じてメモをとり、積極的に参加してください。また、定期考査は計画を立てて臨み、提出物の期限は厳守しましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目ざす。

【知識及び技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	小説Ⅰ ［教材］ ランドセル	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[書]:聞き手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 c:本教材から学習したことを踏まえ、効果的に言葉を用いながら、スピーチ原稿を作成しようとしている。	ワークシート ノート 第一中間考査	ワークシート グループ発表 第一中間考査	ワークシート 発表
	小説Ⅰ ［教材］ 途中下車	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]:語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c:本教材から学習したことを踏まえ、効果的に言葉を用いながら、書き換えを創作しようとしている。	ワークシート ノート 第一中間考査	ワークシート 第一中間考査	ワークシート
	文学評論Ⅰ ［教材］ もののふの心	a:「コトバ」やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]:「コトバ」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:「コトバ」についての自分の考えを、わかりやすくまとめようとしている。	ワークシート ノート 第二中間考査	ワークシート 第二中間考査	ワークシート
	詩 ［教材］ 永訣の朝	a:「永訣の朝」における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使用している。 b[読]:「永訣の朝」の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:詩の内容を踏まえてそれぞれの詩の発想の独特さについて話し合い、自分の考えを深めようとしている。	ワークシート ノート 第二中間考査	ワークシート 第二中間考査	ワークシート
	随想 ［教材］ 自分を解釈してもらう喜び	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:「自分を解釈してもらう喜び」に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品	ワークシート ノート 前期末考査	ワークシート 前期末考査	ワークシート

		などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c:本文の内容を踏まえてそれぞれの職業の独特さについて話し合い、自分の考えを深めようとしている。			
	小説Ⅲ ［教材］ アイデンティティ	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[書]:文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c:本教材から学習したことを踏まえ、効果的に言葉を用いながら、物語を創作しようとしている。	ワークシート ノート 前期末考査	ワークシート 前期末考査	ワークシート
後期	小説Ⅳ ［教材］ 日曜日はどこへ	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]:「日曜日はどこへ」の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:本文の内容を踏まえて「わたし」はこれからどのように生きていくと思うかについて話し合い、自分の考えを深めようとしている。	ワークシート ノート 後期中間考査	ワークシート 後期中間考査	ワークシート
	短歌 ［教材］ 短歌－寺山修司十首	a:短歌における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使用している。 b[読]:寺山修司の短歌に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c:短歌やその作者、テーマについて調べ、学んだことを的確にまとめようとしている。	ワークシート ノート 後期中間考査	ワークシート 後期中間考査	ワークシート
	小説Ⅴ ［教材］ 舞姫	a:人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。b [書]:文語体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な短編小説になるよう工夫している。 c:本教材から学習したことを踏まえ、効果的に言葉を用いながら、二千字から四千字程度の短編小説を創作しようとしている。	ワークシート ノート 後期中間考査	ワークシート 後期中間考査	ワークシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　5　　）時間

・書くこと　　…　（　　２５　　）時間

・読むこと　　…　（　　４５　　）時間